

大分県ハンドボール協会創立50周年 功労者一覧

●●● 功 労 賞 ●●●

- 一万田 尚登 様** 明野中学校のコーチとしてチームの強化に励み、見事全国優勝へと導きました。また、協会の理事長として大分県ハンドボールの発展に多大なご尽力をいただきました。
- 藤下 雅士 様** 中学校女子の選抜チームを、JOC全国大会で優勝へと導きました。現在も小学校・中学校チームの指導を通して、大分県ハンドボールの発展に貢献されています。
- 佐藤 吉春 様** 長年にわたりスポーツ少年団の指導にご尽力され、チームを3度の全国優勝に導きました。また未経験の小学生を対象としたハンドボール教室を通して、競技の普及に貢献されています。
- 島村 浩信 様** 九州高体連専門委員長を務められ、県協会の発展に貢献されました。また県の審判長として多くの上級審判員を育成され、現在は九州協会の審判長としてご活躍されています。
- 長尾 明德 様** 長年にわたり大分県協会の事務局長として、さまざまな大会の運営にご尽力いただきました。中でも第63回国民体育大会では運営役員の中心として大会の成功に大きく貢献されました。
- 古谷 裕邦 様** 全国優勝3回を誇る強豪下郡スポーツ少年団の監督を務めるかたわら、九州ブロック小学生普及委員として、県内外の大会の企画・運営等にご尽力いただいています。
- 秦 浩典 様** 大分県社会人リーグの創設メンバーの一人であり、その後現在に至るまで運営の中心としてご活躍されています。大分県の大学・社会人ハンドボールの活性化に大きく貢献されています。
- 橋本 奈美子 様** 日本リーグの名門オムロンで活躍され、引退後は第63回国民体育大会の成年女子チーム監督や日本協会女性委員を務めるなど、本県の競技力向上に大きく貢献されています。
- 渡辺 賢明 様** DJ. NAVEとして、メディアを通じたハンドボールの普及・広報活動に大きく貢献されています。第63回国民体育大会や本県開催の日本リーグなど、迫力ある実況アナウンスで試合を盛り上げていただいています。

●●● 特別功労賞 ●●●

- 藤原 泰郎 様** 大分東高校女子ハンドボール部の指導者として、全国初の三冠(国体、インターハイ、日韓交流戦)を達成するなど数多くの輝かしい実績を残され、大分県ハンドボールの一時代を築かれました。
- 疋田 忠 様** 大分県ハンドボール協会の設立に大きく関わり、本協会の生みの親と言える方です。昭和41年の第21回国民体育大会では理事長を務められ、運営に多大なご尽力をいただきました。
- 都甲 英二 様** 長年にわたり大分県ハンドボール協会の副会長を務められ、当協会の発展にご尽力いただきました。現在でも顧問として協会の活動を見守っていただいています。
- 松井 光 様** 長年にわたって小学生チームの指導にあたり、明野北クラブを全国優勝に導かれました。現在も明野ハンドボール教室の指導を通して、競技の普及・発展に大きく貢献されています。
- 淵 健児 様** 10年間の長きにわたって会長を務められ、第63回国民体育大会の運営等、大分県ハンドボールの発展のために多大なご尽力をいただきました。
- 湯浅 秀紀 様** 佐賀関高校、大分鶴崎高校女子ハンドボール部の指導に打ち込まれ、輝かしい成績を取られました。当時の選手の多くが、今では指導者として大分県ハンドボール界を支えています。
- 佐藤 喜一 様** 全国高体連専門部委員長、大分県協会理事長を歴任され、県内外を問わずハンドボール競技の発展に大きく貢献されました。現在は九州協会理事長としてご活躍されています。
- 富松 秋實 様** 国際情報高校(旧大分電波高校時代)に全国制覇を達成し、宮崎・末松選手をはじめとする日本のトッププレーヤーを育てられました。現在は大分中学・高校で指導に邁進されています。